

一般財団法人和歌山環境保全公社

平成27年度 事業報告

1 事業概要

本公社は、一般財団法人として、県民の良好な生活環境の確保及び地域環境の保全に寄与することを目的として、廃棄物の安全かつ適正な処理及び環境保全のための啓発等に関する事業を行っています。

平成27年度は、一般財団法人への移行後の第三年度として、より適切な業務運営に努めるとともに、和歌山県知事から認可を受けた公益目的支出計画において実施事業としたすさみ建設残土処分場運営管理事業、循環型社会形成のための啓発推進事業及び2015年の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催を契機とした環境保全啓発事業を実施し、並びにその特定寄附として「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金（きいちゃん募金）」への寄附を行いました。また、その他事業として大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業を実施しました。

2 個別事業の概要

(1) すさみ建設残土処分場運営管理事業

公共事業から発生する発生土（建設残土）を適正に処分するため、和歌山県が設置した公的建設発生土受入施設（西牟婁郡すさみ町大鎌669番地）を有償で利用し、県との必要な協議、県への適宜の報告等を行いながら、受入依頼のある建設残土について受入れ、検量、処分等を行っています。

平成27年度のすさみ建設残土処分場における建設残土の処分量は、26,242トンです。平成24・25年度と2カ年続いた紀南地域の災害復旧工事等の影響が一段落し、平成26年度には処分量が大幅に減少しましたが、平成27年度は前年度より約8,500トン増加しました。

なお、平成27年度末現在では全体受入予定量（558,060m³）の約77.4%（431,879m³）を受け入れたところです。

<受入量の推移（平成10年度～平成27年度）>

年 度	受入量 (t)	年 度	受入量 (t)
平成10年度	54,397	平成19年度	12,030
平成11年度	130,942	平成20年度	20,093
平成12年度	54,030	平成21年度	17,584
平成13年度	82,282	平成22年度	27,253
平成14年度	66,713	平成23年度	26,596
平成15年度	39,442	平成24年度	43,975
平成16年度	29,955	平成25年度	75,857
平成17年度	20,815	平成26年度	17,746
平成18年度	31,431	平成27年度	26,242

(平成27年度一日当たりの受入量：108t)

(2) 循環型社会形成のための啓発推進事業

公益目的支出計画に定めた「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的に関する事業」の核として、産業廃棄物の適正処理を推進するとともに、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に関する啓発に取組み、循環型社会の形成に資することを目的とする事業を行っています。

平成27年度の産業廃棄物処理事業者等講習会については、9月に（一財）日本環境衛生センター等より講師を招き、「産業廃棄物政策と実務知識及び排出事業者責任と違反事例について」等をテーマに講習会を開催し、142名の受講者がありました。

また、和歌山県との共同事業として、紀北地域を中心にラッピングバス（車外啓発広報を窓下3面に掲載した路線バス）を走らせ、不法投棄防止キャンペーンを実施しました。

(3) 2015 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会開催を契機とした環境保全啓発事業

平成27年秋に行われた両大会の関連イベントを通して3R運動を推進するため、それらの行事に併せて啓発活動を展開しました。

ア クリーンアップ運動（作戦）における環境保全啓発

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会が県内一斉クリーンアップデー（9月12日）や県内クリーンアップ運動統一実施期間（8月1日～9月30日）を定めて県内各地の清掃活動への参加者に配付する国体・大会ロゴ入りタオル及び帽子を製作し、県内各地の実施日に合わせて各実施団体等に提供しました。

また、27市町村35箇所の国体開催会場に環境保全啓発ロゴ入り分別収集用ゴミ箱を提供しました。

イ マスメディアを活用した環境保全啓発

テレビCMについては、H26年度制作の2種類のCMをテレビ和歌山でH27年4～7月にかけて122回放送しました。また、両大会の環境保全啓発を行うため、新たに2種類の30秒CMを制作し、テレビ和歌山で8月～10月26日にかけて90回放送しました。

4月15日付け4大朝刊の和歌山版に「開会式、閉会式の観覧者募集」及び9月20日付けに「開催当日におけるマイカー自粛のお願い」に関連した新聞広告を掲載しました。

また、両大会に関連した環境保全啓発・情報の提供を行うため、JR和歌山駅前の電光ニュースにおいて、4月～10月までの期間に毎日12回放映しました。

さらに、20秒間のラジオCMで両大会の応援メッセージを制作し、8月～10月24日までの期間、和歌山放送で92回放送しました。

(4) 「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金（きいちゃん募金）」への寄附

公益目的支出計画に基づく特定寄附として、両大会における花いっぱい運動やクリーンアップ運動などの県民運動やボランティア活動などを支える運営経費に活用されるよう、和歌山県に対して平成26年度と同額の2千万円の寄附を行いました。

(5) 大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入業務受託事業

大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地（和歌山市湊2675-26（新日鐵住金（株）和歌山製鐵所内））の後背圏から運搬される廃棄物等の受入れを行い、積込施設を使用し、海上輸送船に積み込むまでの業務を受託しています。

委託者の大阪湾広域臨海環境整備センターは、大阪湾圏域の広域処理対象区域から発生する廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図ること等を目的として、広域臨海環境整備センター法により昭和57年3月に近畿2府4県を含む市町村等の地方公共団体174団体及び港湾管理者4団体の出資により設立された特殊法人です。

平成27年度の和歌山基地における産業廃棄物等の受入量は、139,602トンです。前年度に比べ一般廃棄物が4.6%減少しましたが、産業廃棄物が^{さい}鉾澤で39.1%増加するなど、21.8%の増加となり、受入量全体としては対前年度比111.6%と一割増加となりました。

また、この受入業務に関連して和歌山基地運行監視業務も併せて受託し、和歌山市の野崎地区と北島地区において毎月1回の搬入通行禁止路線に係る運行監視業務を実施しました。

<受入量の推移（平成8年度～平成27年度）>

年 度	受入量（t）	年 度	受入量（t）
平成8年度	260,680	平成18年度	218,061
平成9年度	430,159	平成19年度	212,026
平成10年度	339,069	平成20年度	234,906
平成11年度	232,853	平成21年度	157,026
平成12年度	165,566	平成22年度	193,145
平成13年度	172,745	平成23年度	139,592
平成14年度	115,227	平成24年度	116,394
平成15年度	123,943	平成25年度	125,438
平成16年度	134,560	平成26年度	125,103
平成17年度	178,690	平成27年度	139,602

（平成27年度一日当たりの受入量：567t）

3 その他

本社は、和歌山県、和歌山市外12市町（旧22市町）及び新日鐵住金株式会社（旧住友金属工業株式会社）外9事業者からの出捐金1億円をもって昭和56年7月1日に財団法人和歌山環境保全公社として設立されました。

その後、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の関係法令の施行に伴い、平成25年3月18日付けで和歌山県知事の認可を得て、平成25年4月1日に一般財団法人となりました。また、その際には、公益目的支出計画の認可を受け、今後とも公益目的支出を継続していくものとしたところです。